

「ASP・SaaS データセンター促進協議会」

運 営 方 針

1. 名 称

本組織は「ASP・SaaS データセンター促進協議会」（以下、「本協議会」という）と称する。

2. 設立趣旨

- (1) ASP・SaaS が情報インフラとして定着しつつあり、今後一層の発展拡大の為には、ASP・SaaS サービスや ASP・SaaS 事業者の安全・信頼性が絶対不可欠であるとともに、一方、企業等利用者においてもセキュリティやディザスタリカバリの確保、情報システムや業務のアウトソーシングによるコスト削減並びに生産性向上が重要課題であります。
- (2) このような観点から、ASP・SaaS 事業者は安全・信頼性の高いサービスの提供のために高機能・高セキュリティを備えた専用のデータセンターを利用する傾向にあり、利用者においてもデータセンターの比較・検討を通じて評価・選択の機運が顕在化してきております。そのためにはデータセンター事業者はサーバーやネットワークなどの関連事業者等との密接な連携による技術面や管理運用面の一層の質的向上が求められております。
- (3) このような状況を踏まえ、「ASP・SaaS 普及促進協議会」においてデータセンターの情報開示指針の検討を進めてきており、更に特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム（以下、「ASPIC」という）技術部会でも「IDC プラットフォーム研究会」において技術面や環境対策等を検討してきました。
- (4) そこで、データセンターの情報開示指針及びデータセンターの環境対策等の取組を具体化するとともに、世界で最も優れたブロードバンドインフラを有する我が国がアジア・世界の情報発信拠点として発展するための取組を行うことを目的として、データセンター事業者を中心に、ネットワーク事業者、プラットフォーム事業者、ASP・SaaS 事業者等による、本協議会を ASPIC 内に設置することとします。
- (5) この新組織により、ASPIC の体制を強化し参加メンバーも拡大し、「データセンター」と「ネットワーク」、「プラットフォーム」、「アプリケーション」との一体的な連携融合による「クラウドコンピューティング化」への対応も含め、広範で多面的な研究調査及び実施・検討を行うこととします。

3. 目的

- (1) ASP・SaaS が我が国の情報インフラとして定着・拡大するための基盤であるデータセンターの在り方を俯瞰し、もって国・自治体及び業界団体等に施策提言を行います。
- (2) データセンター事業者及びデータセンターサービスの安全・信頼性を確保し、併せて、技術面、性能面、環境面に加えコスト面等をも配慮したデータセンター作りを推進するために、「環境対応指針づくり」及び「データセンターの安全・信頼性に係る情報開示指針」を発展させて「データセンター情報開示認定制度の在り方」の検討を行います。
- (3) クラウドコンピューティングの安全・信頼性確保の観点から、「クラウドコンピューティングによるサービス利用モデル」と普及促進策の検討を行います。
- (4) データセンター事業者を中心に、ネットワーク事業者、プラットフォーム事業者、ASP・SaaS 事業者及び機器事業者等による相互の連携・融合を目指したビジネスアライアンス並びにシステム連携を推進します。
- (5) データセンター事業の経営強化により「国際競争力の向上」を図りつつ、「ネットワーク環境変化への対応」及び「データ安全保障のあり方」の検討を通して、世界で最も優れたブロードバンドインフラを活用し、日本がアジア・世界の情報発信拠点となるための環境整備を推進します。

4. 活動内容

市場拡大及び事業展開を推進する上での下記 of 具体的なテーマについて研究・討議し、併せて活用上の問題・課題の整理・分析と対策・提言を行い、もって検討成果のアウトプットと情報共有・発信を行います。

- (1) ASP・SaaS データセンターの安全・信頼性の向上
 - データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度の検討
 - データセンターの CO2 削減等の環境対応指針の検討
 - データセンター利用ガイドの作成（ASP・SaaS 事業者／ユーザー向け）
- (2) クラウドコンピューティングの安全・信頼性の確保
 - クラウドコンピューティングによるサービス利用モデルの検討と普及促進（ASP・SaaS 事業者／ユーザー向け）
- (3) ネットワーク環境変化を踏まえた新たな国際展開戦略
 - ネットワークの環境変化への対応の検討
 - データ安全保障のあり方の検討
 - データセンターの国際競争力の向上

5. 構成及び運営

- (1) 本協議会はASPIC傘下の内部組織とし、「ASP・SaaS 普及促進協議会」との連携、及びASPIC内諸活動との一体的運営等を図ることとする。
- (2) 本協議会の構成員はASPIC会員で、参加希望する者とし、必要に応じASPIC会員以外の者もオブザーバーとして参加できることとする。
- (3) 本協議会の構成員は、別紙のとおりとし、適宜追加する。
- (4) 本協議会には会長及び副会長を置き、ASPIC会長が指名する。
- (5) 本協議会の会長及び副会長の任期は、2年とする。
- (6) 本協議会には、必要に応じ委員会を設置し、委員会構成員の中から委員長及び副委員長を互選する。
- (7) 委員会には必要に応じWG(作業グループ)を設置し、リーダー及びサブリーダーをWG構成員の中から互選する。
- (8) 委員会及びWG構成員は本協議会構成員で、参加希望する者とする。
- (9) 本協議会は会長が、委員会は委員長が、WGはリーダーがそれぞれ招集し、主催する。
- (10) 副会長、副委員長及びサブリーダーは、会長、委員長及びリーダーが不在のときは、それぞれ職務を代行する。
- (11) 本協議会、委員会及びWGは、必要があると認めるときは、構成員以外の者から意見を徴することができる。
- (12) その他、本協議会の運営に関し必要な事項は、ASPIC会長が定める。
- (13) 本協議会の設立時における会長及び副会長は以下のとおりとする。

会 長 村井 純 (慶應義塾常任理事)

副会長 中島 洋 (国際大学グローバルコミュニケーションセンター教授、株式会社MM総研代表取締役所長)

副会長 海野 忍 (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株) 代表取締役副社長)

6. 事務局

事務局は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム内に設置する。

以上